

第75回

新宿区景観まちづくり審議会

令和4年8月2日

新宿区都市計画部景観・まちづくり課

第75回新宿区景観まちづくり審議会

開催年月日・令和4年8月2日

出席した委員

後藤春彦、野澤康、篠沢健太、中島直人、川手謙介、浅見美恵子、志村成昭、和田総一郎、有馬卓、安田裕治、大橋秀子、阿部光伸、野澤義男

欠席した委員

坂井文、伊藤香織、吉田慎悟、大崎秀夫

議事日程

1. 会長の選出等

- (1) 会長の選出
- (2) 副会長の選出
- (3) 小委員会委員の指名
- (4) 景観計画検討小委員会委員の指名

2. 報告

[報告1] (仮称) 新宿駅西南口地区開発事業について

3. その他

議事

午後 3時45分開会

○事務局（景観・まちづくり課主査） 定刻になりましたので、第75回新宿区景観まちづくり審議会を開催いたします。

事務局を務めさせていただきます景観・まちづくり課の長谷川と申します。どうぞよろしくお願いたします。

本日は、**坂井委員、伊藤委員、吉田委員、大崎委員**より御欠席される旨の御連絡を頂いております。

なお、委員の過半数が出席しておりますので、新宿区景観まちづくり条例施行規則第39条

第2項により、審議会は成立いたします。

また、審議会は公開となっております。傍聴の方は発言できませんので、御了承ください。

景観まちづくり審議会は条例により委員任期は2年です。本日は新たな委員構成での最初の会議となります。本来、審議会の進行は会長にお願いするところですが、本日は会長が選出されるまでの間、事務局が進行を務めさせていただきます。

また、本日は、新宿区景観まちづくり相談員の**神谷相談員**、**進藤相談員**に事務局として出席していただいております。

それでは、議事に先立ちまして、景観まちづくり審議会委員の皆様からお一言ずつ御挨拶を頂戴したいと思います。お手元の名簿順にお名前をお呼びいたしますので、お一人ずつ自己紹介をお願いいたします。マイクは事務局がお持ちいたします。

それでは、**後藤委員**から順にお願いいたします。着席のままで大丈夫でございます。

○**後藤委員 後藤**でございます。早稲田大学の建築学科で都市計画を教えております。新宿区の景観まちづくり審議会の委員を長く務めさせていただいておりますが、このコロナ禍においてもこうして対面で開催できることを大変ありがたいと思っております。

ちなみに豊島区と調布市の景観審議会の委員でもあります。よろしくお願いいたします。

○**事務局（景観・まちづくり課主査）** ありがとうございます。

野澤委員 よろしくお願ひいたします。

○**野澤（康）委員 野澤**でございます。

ここからすぐのところの工学院大学の建築学部まちづくり学科で都市計画まちづくりを教えます。この審議会の委員も大分長くなりましたけれども、いつも2年に1回言っているんですけども、景観ってとても難しいものだなと思いつつながら景観の仕事をしているところでございます。今期もどうぞよろしくお願いいたします。

○**事務局（景観・まちづくり課主査）** ありがとうございます。

続きまして**篠沢委員**お願ひいたします。

○**篠沢委員** 工学院大学建築学部まちづくり学科の**篠沢**と申します。

専門はランドスケープデザイン、昔でいう造園という分野になります。みどり豊かな新宿区になるように頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

○**事務局（景観・まちづくり課主査）** ありがとうございます。

続きまして、**中島委員**お願ひいたします。

○**中島委員** 私は東京大学の都市工学科というところで都市計画を教えます。私も何

期目か、ちょっと分からないんですが、景観計画の改定等に関わらせていただきまして、去年は同じような暑さの中、かなり新宿区のまちを歩いて、改めて新宿区の景観の多様さ、豊かさにいろいろ感激していたことを覚えております。今期もよろしくお願いいたします。

○事務局（景観・まちづくり課主査） ありがとうございます。

続きまして、川手委員お願いいたします。

○川手委員 川手でございます。所属は東京都建築士事務所協会新宿支部で、前任の安田からバトンタッチを受けました。今期からですので、よろしくお願いいたします。

個人的には、本籍も生まれも市ヶ谷加賀ですので、ふるさとである新宿の景観がよりよくなるように、微力ではございますが、何かお力になればと思っております。よろしくお願いいたします。

○事務局（景観・まちづくり課主査） ありがとうございます。

続きまして、浅見委員お願いいたします。

○浅見委員 浅見と申します。

所属は美しい東京をつくる都民の会というところから出させていただいております。会長はあちらにいらっしゃる中島先生です。

このところちょっとコロナで集まって会合を開くことができおりませんけれども、美しい東京をつくるという、汚い東京という意味ではなくて、美しい東京とはどんなことかというところから始まった都民の会です。私も審議委員を長く末席に座らせていただいておりますが、今期が最後になると思いますので、一生懸命頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

○事務局（景観・まちづくり課主査） ありがとうございます。

続きまして、志村委員よろしくお願いいたします。

○志村委員 新宿区商店会連合会から参りました志村と申します。

今回初めての参加となります。非常に若輩者ですが、勉強しながら参加していきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

○和田委員 東京商工会議所から推薦頂いております和田と申します。

どうかよろしくお願いいたします。

○事務局（景観・まちづくり課主査） ありがとうございます。

続きまして、有馬委員よろしくお願いいたします。

○有馬委員 今回初めて参加させていただきます有馬と申します。

1984年から新宿区に住んでまして、当初は西早稲田3丁目に住んでましたが、今は高田馬場1丁目に住んで、もともと関西の出身ではありますが、こちらに永住するつもりで新宿区のお役に立てるとは思いませんけれども、いろいろ勉強させていただきながら皆さんといい方向に持っていければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○事務局（景観・まちづくり課主査） ありがとうございます。

続きまして、**安田委員**お願いいたします。

○安田委員 安田裕治と申します。

私は、西早稲田に来て約25年間ぐらい住んでいるんですけども、職業が建築家で、以前から美しい景観というものにすごく興味持っていて、それで少しでもお役に立てられればと思って参加させていただきました。よろしく願いいたします。

○事務局（景観・まちづくり課主査） ありがとうございます。

続きまして、**大橋委員**お願いいたします。

○大橋委員 大橋でございます。よろしく願いします。

私も何年か前から関わらせていただいて、家が親の代からで、新宿にはもう住んで長いです。今まであまり美とかまちなみには興味なかったんですけど、これに関わるようになってから、何か変わっていく姿が目に見えるようになりまして、こんなに皆さんがまちに目を向けて頑張ってくらしたんだということをここに入って知りまして、楽しくやらせていただいております。よろしく願いします。

○事務局（景観・まちづくり課主査） ありがとうございます。

続きまして、**阿部委員**お願いいたします。

○阿部委員 阿部光伸と申します。前回に引き続きよろしく願いいたします。

私は、矢来町に住んでおりまして、もう25、26年たつんですが、神楽坂が近いので、NP
○神楽坂まちづくりもいろいろやらせてもらっております。きっかけは、神楽坂のところに高層ビル、マンションが建ったことにショックを受けまして、それで神楽坂のまちづくりにも関わってきた中で、こういう景観の話があるということで参加する機会があったということで楽しんでいきます。年も年なので、今回は新宿の駅に関する案件が多そうなので、これで最後と頑張っていきたいと思っています。よろしく願いします。

○事務局（景観・まちづくり課主査） ありがとうございます。

続きまして、**野澤委員**お願いいたします。

○野澤（義）委員 野澤と申します。

今、都市計画部長をさせていただいております。4月から今のポストでございます。

昨年までは新宿駅周辺整備担当部長ということで、本日の報告案件にもございます新宿駅周辺の開発の調整などをさせていただいております。前任の**森**に引き続きまして頑張っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

○事務局（景観・まちづくり課主査） ありがとうございます。

1. 会長の選出等

(1) 会長の選出

○事務局（景観・まちづくり課主査） それでは、次第にお戻りいただきまして、次第1、会長の選出等についてお諮りいたします。

会長、副会長については、新宿区景観まちづくり条例において委員の互選により定めることになっております。まず、会長について御推薦される方がいらっしゃいましたら、御発言をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

中島委員、お願いいたします。

○**中島委員** 前回に引き続き、ぜひ**後藤委員**に会長をお願いしたいなと私は思います。

○事務局（景観・まちづくり課主査） 皆様、今、**後藤委員**を推薦されるというお話ございましたが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○事務局（景観・まちづくり課主査） 異議なしということでよろしいでしょうか。

—拍手—

○事務局（景観・まちづくり課主査） ありがとうございます。

皆様、御異議がないということですので、**後藤委員**に審議会会長をお願いしたいと思います。

後藤会長には会長席に移動していただきまして、御挨拶をお願いしたいと思います。

後藤会長お願いいたします。

○**後藤会長** 会長に選任いただきましてありがとうございます。これまでも新宿区の景観まちづくり審議会の会長を務めさせていただいておりましたけれども、最近の新宿区の景観の変化というのは非常に目まぐるしいものがございます、今も歌舞伎町タワーがその全容を見せてきておりますが、その後、今日御審議いただく新宿駅西口や南口でも大きなさま変わりが予想されています。

そうした中で、この審議会の役割というのは非常に大きなものがあるというふうに思います

が、もう一つぜひ皆さんと共有したいなと思うのが、新宿区では景観まちづくり審議会という、まちづくりという平仮名5文字を加えております。多くの他の自治体は景観審議会と名のっているんですけども、まちづくりという表現を入れているところが一つ新宿の景観に対する態度、考え方ではないかと思えます。

多くの自治体が景観審議会と呼んでいる中で、それぞれ手探りで景観行政を進めていますので、実は景観審議会の進め方とか内容というのも非常に多様なものがあるわけですけども、新宿区の場合はまちづくり、これはやはり区民と共に景観を育てていこうという大きなベースを共有しているというところがあるかと思えます。そうしたことを踏まえて、この新たな経済動向として立ち上がってくるような超高層、スカイラインも、そうした目からもぜひ審議をいただく必要あるかなというふうに思っております。

いずれにしろ、皆様の御協力を得ながら進めてまいりたいと思っておりますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

○事務局（景観・まちづくり課主査） ありがとうございます。

会長が選任されましたので、以降の議事進行につきましては、**後藤会長**にお願いしたいと思えます。

後藤会長、よろしくお願ひいたします。

(2) 副会長の選出

○後藤会長 それでは、続きまして副会長の選出をさせていただきたいと思えますが、互選ということですが、推薦される方いらっしゃいますでしょうか。

もし、御推薦がないようであれば、私としましてはこれまで同様、副会長には**野澤（康）委員**にお願いしたいというふうに思っておりますが、いかがでしょうか、お認めいただけますでしょうか。

—拍手—

○後藤会長 ありがとうございます。

それでは、**野澤（康）委員**に審議会副会長をお願いしたいと思います。

副会長、御挨拶をお願いいただければと思えます。

○野澤（康）委員 ただいま指名を頂きました**野澤**でございます。改めてよろしくお願いいたします。

会長に事故があるときは、会長の補佐をしてということですし、事故がないことを2年間望んでおりますので、**後藤先生**よろしくお願ひいたします。

景観審を長くやってきて、前期に引き続いて副会長ということですが、今日の案件もそうですが、区境を越える案件って結構あって、そのときに個人的に結構無力感を覚えることがあります。やはり景観って遠くから見る景観もございまして、区境とか、そういう人為的に引かれた線とは別の観点というのも大事かなと思うんです。行政界って結構重要なものですから、そこを越えてものを言うというのは非常に難しいところもあるんですけども、何かそういうところも含めて、何かしらこの景観まちづくり審議会で突破口を見つけながら議論できていたらいいかなというふうに思っておりますので、どうぞ2年間御協力をお願いしたいと思っております。

よろしく願いいたします。

○後藤会長 どうもありがとうございました。

(3) 小委員会委員の指名

○後藤会長 次に(3)小委員会委員の指名ですが、事務局より御説明をお願いいたします。

○事務局（景観・まちづくり課主査） それでは、新宿区景観まちづくり審議会小委員会委員の指名について御説明いたします。

新宿区景観まちづくり条例では、審議会の効率的な運営を図るため、審議会に小委員会を置くことができると定めています。お手元に「新宿区景観まちづくり審議会 小委員会委員の指名について」をお配りしておりますので、ご覧になりながらお聞きください。

まずはじめに小委員会の委員の指名についてです。

規則では、審議会の委員のうち、審議会の会長が指名する者9人以内をもって組織すると定めています。

次に、委員長及び副委員長についてです。

小委員会の委員長については、審議会の会長が指名する者としております。なお、副委員長については特に定めはございませんが、前回は委員長の選任と同様に審議会の会長の指名により副委員長を選任していただきました。

最後に、小委員会で議題とする事項についてです。

議題とする事項は、条例第31条第2項に定める委任事項となっております。3番に記載のとおりでございます。なお、令和2年度、3年度の開催はございませんでした。

説明は以上でございます。

○後藤会長 ありがとうございます。

小委員会は会長の指名ということでございます。

参考までに委員の構成などについて事務局よりお考えがあればお伺いしたいと思います。

○事務局（景観・まちづくり課主査） 令和2年度、3年度に設置した小委員会では、委員は定数9名で組織し、構成は学識経験者5名、区民委員4名といった比率になっております。また、小委員会委員は1年交代としており、審議会委員の任期2年の間には、全委員に小委員会委員を務めていただいております。

○後藤会長 ありがとうございます。

これまでの慣例に倣って構成を考えさせていただきたいと思いますが、委員指名は新宿区景観まちづくり条例施行規則第40条1項により会長が行うということになっておりますので、私のほうから次にお話しするように指名させていただきたいと思います。

皆様、本日の次第の裏面にある委員名簿をご覧くださいと思います。

まず、学識経験者ですけれども、**坂井委員、篠沢委員、中島委員、伊藤委員**に私を加えて5名とさせていただきます。また、団体推薦区民委員からは、**浅見委員、志村委員**の2名にお願いしたいと思います。そして公募区民委員、こちらは**有馬委員、阿部委員**の2名にお願いしたいと思います。

以上、学識経験者5名、団体推薦区民委員2名、公募区民委員2名、合計9名の委員の皆様をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

また、小委員会委員は1年交代ということですので、今回指名された方以外の委員におかれましては、来年の7月以降の1年間小委員会委員となつていただくということでよろしく願います。

それでは、次に小委員会の委員長、副委員長の選任でございます。

委員長の指名については、新宿区景観まちづくり条例施行規則第40条3項により、会長が行うということになっております。

私のほうから**中島委員**に委員長をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

—拍手—

○後藤会長 ありがとうございます。

それでは、**中島委員**が委員長ということですよ。

次に、副委員長の選任でございます。

副委員長の選任については、前回に倣い、私のほうから選任をさせていただければと思います。副委員長につきましては、**篠沢委員**をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

—拍手—

○**後藤会長** ありがとうございます。

それでは、小委員会は**中島委員長、篠沢副委員長**の体制で進めていただきたいと思います。

(4) 景観計画検討小委員会委員の指名

○**後藤会長** 次に、次第に(4)景観計画検討小委員会委員の指名とございますが、事務局より御説明をお願いします。

○**事務局（景観・まちづくり課主査）** 景観計画検討小委員会委員の指名について御説明いたします。

参考資料「新宿区景観まちづくり審議会小委員会の委員の指名について」をご覧ください。

根拠となる条例及び規則は、先ほどの小委員会と同様でございます。4番に記載のとおり、景観計画検討小委員会では、景観まちづくり計画等の改定に関する事項を議題としており、令和2年度は4回、令和3年度は5回開催されています。先ほどと同様に、委員、委員長、副委員長について、会長から御指名をお願いいたします。

○**後藤会長** 御説明ありがとうございます。

こちらで会長指名ということですが、参考までにこれまでの委員の構成をお示しただければと思います。

○**事務局（景観・まちづくり課主査）** 景観計画検討小委員会については、**坂井委員、篠沢委員、中島委員、伊藤委員**の学識委員4名で構成されておりました。委員長は**中島委員**に、副委員長は**篠沢委員**に務めていただきました。任期の規定は特にございません。

○**後藤会長** ありがとうございます。

景観まちづくり計画の改定につきましては、令和2年度から取り組んでいただいております。今年度末の改定を目指して作業を進めていただいております。そうしたこともありまして、引き続き**坂井委員、篠沢委員、中島委員、伊藤委員**の4名にお願いしたいと思います。

また、併せて委員長につきましては**中島委員**、副委員長につきましては**篠沢委員**にお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

—拍手—

○**後藤会長** どうもありがとうございます。

これで本日の次第の1番、会長の選出等を終了させていただきます。

どうもありがとうございました。

2. 報告

[報告1] (仮称) 新宿駅西南口地区開発事業について

○**後藤会長** 引き続き本日のメインの議題に移りたいと思います。

次、第2の報告につきまして事務局より御説明をお願いします。

○**事務局(景観・まちづくり課主査)** それでは、2. 報告について御説明いたします。

まず、資料について御確認をお願いいたします。

机上配付資料として、次第、裏面に委員名簿が載っております。新宿区景観まちづくり条例と施行規則、新宿区景観まちづくり計画、新宿区景観形成ガイドラインと改定版、先ほど御説明いたしました参考資料、新宿区景観まちづくり審議会小委員会委員の指名について、それから参考資料としまして座席表、最後に報告1. (仮称) 新宿駅西南口地区開発事業の追加資料がございます。

新宿区景観まちづくり条例、施行規則及び新宿区景観まちづくり計画、新宿区景観形成ガイドラインにつきましては、各委員専用のもので御用意いたしましたので、御自由に書き込みをしていただくなど御活用ください。

なお、審議会の閉会後に事務局のほうで保管いたしまして、今後、審議会を開催する際、机上に配付させていただきます。もし持ち帰られる場合には、次回の審議会の開催の際にお持ちくださいますようお願い申し上げます。

また、今期から就任されました委員には、新宿景観まちづくりガイドブックを配付させていただきました。御確認をお願いいたします。

そして、事前に送付しております資料として、報告1. (仮称) 新宿駅西南口地区開発事業、以上1点がございます。

資料については、以上でございます。皆様、お手元でございますでしょうか。

それでは、報告事項についての御説明に移らせていただきます。

報告1、(仮称) 新宿駅西南口地区開発事業についてでございます。

本計画につきましては、国家戦略特区の都市計画決定に向けて景観事前協議を行っております。本日この審議会で頂いた御意見を踏まえ、今後も引き続き段階的に協議を進めてまいります。事業詳細については事業者の方から説明いたします。

では、事業者の方、入室をお願いいたします。

[事業者入室]

○**事務局(景観・まちづくり課主査)** それでは、事業者から御説明をお願いいたします。

○**東日本旅客鉄道株式会社(鈴木)** 本日、お時間いただきましてありがとうございます。

まず、本日出席者の自己紹介をさせていただきます。

私、事業者でJR東日本の鈴木と申します。よろしくお願いいたします。

○京王電鉄株式会社（中川） 同じく事業者でございます。京王電鉄の中川と申します。よろしくお願いいたします。

○株式会社日建設計（福田） コンサルと設計をさせていただいています日建設計の福田と申します。よろしくお願いいたします。

○株式会社JR東日本建築設計（榎木） 同じくコンサル、設計をさせていただいていますJR東日本建築設計、榎木と申します。よろしくお願いいたします。

○東日本旅客鉄道株式会社（鈴木） では、はじめにお手元の資料で概要を御説明させていただき、その後、模型もご覧いただきながら模型とパネルで15分ぐらい御説明させていただければと思います。

まず、お手元の資料を説明させていただきます。

○株式会社日建設計（福田） お手元の資料の表紙をおめくりいただくと1ページ目に今回の対象建物ということで、1年以上前に新宿駅西口地区という小田急、東京メトロの開発が先行して新宿グランドターミナルが動き始めましたけれども、この赤枠で囲ませていただいた新宿駅西南口地区というのが今回の対象建物となっております。

建築でいいますと北街区、南街区、2棟の建物が、甲州街道をまたいでそれぞれ存立している都市計画、計画内容となっております。詳細は後ほどのページで御説明差し上げます。

3ページ目を開いていただいでよろしいでしょうか。

3ページ目は、主に敷地の概要、上位計画等についてまとめた資料になってございまして、左側の内容は、新宿グランドターミナルと呼ばれる楕円形のオレンジ色の範囲の一つを構成していくということで、今回の計画地を想定してございます。

中ほどに、それぞれの事業の割り振りを、それぞれ色を分けて記載をしまして、今回グランドターミナルにおける区画整理事業は緑色の範囲、それから鉄道事業は少しグレーで書かせていただいている範囲、それから民間の建物開発を青や赤で示しており、こういったものがそれぞれ連携をしながら全体を構成しているということになってございます。今回の計画地は、図に書かせていただいているような、今の京王百貨店、それからルミネ1、それから甲州街道南側の一帯のエリアということになってございます。

お手元の資料の8ページ目以降、新宿区の上位計画等についてまとめてございます。特に8ページ目については、都市計画マスタープラン、それから景観のまちづくり計画等についてま

とめさせていただいてございまして、今回特に、国際都市という大きなテーマの下に新宿駅の再生をしていくというところが景観まちづくり計画の中でもしっかり明記をされているというふうに認識をさせていただきます。群全体としていかに駅を見せていくかというような話でありますとか、新宿区の顔となる駅前の景観をどうするというのと、それからやはり非常に人が多い、注目度の高いエリアでございますので、快適な歩行者空間をどう作っていくか、そういったあたりが一つのポイントになってくるというふうに考えてございます。

ページをめくっていただきまして16ページ目にいっていただいてよろしいでしょうか。

16ページ目が、今回の開発の概略をまとめた内容になってございます。冒頭と同じパースが右上のほうにございまして、北街区、南街区で2つの建物になってございます。

2棟の建築物ということで、甲州街道をまたいでそれぞれ延べ床面積にしておよそ15万平米ほどの建物になってございます。ただ、パース等見ていただいて分かるように、北街区と南街区でかなり高さの違いがございまして、先行する新宿駅西口地区、あるいはミライナタワーと連携をして甲州街道の南の南街区には超高層の建物、それから現状の京王百貨店、ルミネ1の辺りは中層棟の建物ということを想定してございます。それぞれ高さにして、225メートルと110メートルということになってございます。

工期については、左側の表の下のほうに書かせていただいていますけれども、南街区のほうが先行着手をする予定でございます。2023年度から着手をして、2028年度を目標として計画してございます。

北街区については、南街区が完成した後、着手をするという想定でして、竣工はまだ2040年代ということで、明確な日程は決まりきっていないところでありますけれども、かなり超長期的なプロジェクトになるという想定でございます。

ページをおめくりいただきまして17ページ目よろしいでしょうか。

17ページは建物の概要と、区民の方々にも使っていただける公共貢献の内容をまとめた資料になってございます。

北街区の建物については、低層部は店舗、主には商業施設ということになるかと思えます。上層部の少し飛び出ている部分、こちらについては宿泊機能と資料の中では記載をしていますけれども、いわゆるホテルを想定しているということでございます。

南街区も同じようにグレーの小さな文字で書いてありますけれども、低層部は店舗、中層部には事務所ということでオフィスが入る想定をしてございます。一番最上階の青く囲ませていただいているところは宿泊機能ということで、こちらもホテルが入るということで計画を進め

てございます。

図中にオレンジ色とか緑色とかいろんな色がございますけれども、それぞれの各機能の境界部分に、様々な方々が入っていただけるような公共的な空間を設けていこうということで、それがオレンジ色とかブルーとか、そういったもので示しているということになってございます。

次のページの18ページ目をご覧ください。

18ページ目の絵は、ちょうど駅の南西の辺りから少し俯瞰をして見下ろしたような絵になってございます。図中を見ていただくと、左手のほうにモード学園のタワーがあったりしますが、今回、足元の辺りの歩行者動線をできるだけ分かりやすく図解してみた点がこちらの絵になっています。

色ごとに階層を分けていまして、茶色がB1階、今の例えば西口広場の地上階、それから赤色が1階でグリーンが2階ということになってございます。

今回、やはり2階や地下階はかなり特徴的と思っております、現状はなかなか京王百貨店、ルミネ1を通過して駅の東西をつなぐということが非常に難しい構造になってございます。それを今回このグリーンの色が、それぞれ百貨店であるとか、ルミネ1の中を突き抜けて東のほうとつながっているような図解になってございますが、将来的にはこういった東西方向の行き来ができるだけしやすくなるような動線を新たに設置をしようと考えています。

あるいはグリーンの色が南北方向に、図中でいうと左手から右手のほうに伸びています。甲州街道もさらに渡って、サザンテラスであるとか、今のペンギン広場の辺りまで延びるような動線を今回新たに計画してございます。非常に東西南北のつながりを強化していこうというのが今回の計画の非常に重要な点と思っております。

同じく地下階についてもそういったものを充実させていこうと考えております。

もう1枚めくっていただきまして、19ページ目です。

こちらは中層階をクローズアップした絵になってございます。

今回、図中にスカイコリドーとかグランドシャフトとかいろんな名称が記載をされていますけれども、単体の開発だけではなくて、隣接して先行する新宿駅西口地区の小田急、東京メトロとも協調を差し上げまして、例えばこのスカイコリドーと呼ばれている公共的な空間を、単なる百貨店の屋上広場にせず、しっかりと人を上まで引っ張った上で、例えばホテルとかにぎわい機能と一体となったような、使いやすい広場空間というのを一体で作っていこうと考えています。このあたりのスケール感とか、お互いに手を取り合っつつくっていくというところは、一つの新宿の特徴ではないかなと思っております、この辺りを景観上も一つの目玉にした

いと考えているところでございます。

ページをまためくっていただきまして26ページ目です。

今、御説明を差し上げたスカイコリドーと呼ばれているものを、外からの見え方としても何らか特徴を持たせたいと考えてございまして、26ページ目は、このスカイコリドーと呼んでいる部分を、自然のモチーフといったものとのできる限り連携をさせて、足元の商業施設とかホテル、オフィスといったところとちょっと違うニュアンスを出して、外から見たときもそこに公共的な空間があることが分かるような、にぎわいを表出するような外装デザインも目指していきたいと考えてございます。

2040年代完成の建物でありますので、具体的なディテールはこれから詰めていくということになるかと思えますけれども、考え方としては、できるだけその空間を外部にも分かりやすく伝えたいというのがコンセプトでございます。

次にみどりに関する点を少し御説明差し上げたいと思います。34ページ目、35ページ目よろしいでしょうか。

34ページ目は、これも上位計画等で位置づけられてございますけれども、新宿中央公園と新宿御苑をつないでいくところに、今回の新宿グランドターミナルがあるということで、大きな骨格をそれぞれ4号街路あるいは甲州街道等につくっていくことと思っております。先ほどの公共的なパブリックな空間とうまくみどりをできるだけ連動させて計画をしていきたいと思っております。北街区に関しては中層部のスカイコリドー、それから低層部のデッキ空間、南街区に関しては甲州街道を渡ってサザンテラスにつながっていく足元周りだとか、このあたりをそれぞれしっかりと重視していきたいと考えています。

少し図解したものが、次の35ページ目になってございます。

35ページ目の左側が北街区、右側が南街区の特徴的なところを抜き出して御説明を差し上げています。

北街区に関して言いますと、まず3番のようなスカイコリドーという都市計画的にも目玉の広場空間とみどりを一体的に計画をしていきたいというような話ですとか、あるいは2番のような2階部分の南北方向のデッキ沿いの空間ですけれども、こういったところとみどりを連続させていって、できるだけヒューマンタッチといいましようか、人が見える場所にできるだけこういったものを集中的に配置をしていきたいと考えています。

南街区も基本的には同様の考え方です。甲州街道の沿道、サザンテラスから入ってくるあたり、あるいは葵通りと呼ばれています渋谷区の中の通りがございましてけれども、その突き当た

りとして非常に目立つ建物でもありますので、葵通りから見通せる壁面の考え方等については、みどり等もしっかりと配置をしながら、その連続性を語っていきたいと考えております。

空間の詳細は後ほど模型等で御説明できればと思います。

最後に46ページ目、よろしいでしょうか。

冒頭に工程等もお話を差し上げましたけれども、今回、かなり超長期的なプロジェクトになってございまして、まずは南街区、それから北街区というような進め方で進んでいきますが、南街区に関しましては、2023年から2028年という工期で考えていますので、2023年に入ったあたりで改めて、より深度化された内容で御説明を差し上げたいと思っております。

北街区に関しては、今のところ、南街区の完成後に具体着手をするという想定ですので、2028年度以降改めて具体的な検討をもって審査いただければと考えているというところでございます。

資料については以上でございまして、あと模型、あるいは新たに追加差し上げたパネル等を中心に御説明差し上げたいと思います。よろしく申し上げます。

○東日本旅客鉄道株式会社（鈴木） それでは、お手数ですが、お立ちいただいて模型の周りに来ていただければと思います。コロナ禍なので、密にならないようにこちら側に立っていただけるとありがたいです。

今、目の前にある模型が、方位で言いますとあちら側は北側、こちら側が南側になります。こちらが西口側、東口になります。

今回我々が計画しているのは、この北街区と南街区という建物で、先だって都市計画決定されている新宿駅西口地区のプロジェクトがこちらになります。

今、御説明にあったように、我々、もともと新宿駅の課題として、東京都、新宿区の拠点再整備方針の中でもあります。まず、駅としての顔が今までないというような議論があります。そこで、まず今回の建替えの中で、グランドシャフトと申しあげました大きな顔を、北側はこちら側、この模型では表現されていませんが新宿駅西口地区とも連携しながら、中景、遠景でも、駅の顔といえどという大空間をつくることとしています。

南も同様に、こちら側にグランドシャフトというものを設けさせていただいて、駅の顔づくりを行っているところでございます。

もう一つ、後ほど歩行者ネットワークで御説明しますが、駅とまちの動線が分かりにくいということに対しては、我々ターミナルシャフトという言葉を使わせていただいておりますが、具体には地下1階、1階、デッキ階の3層をつなぐところを、出入口が分かりやすいところにつくっ

ていこうということを行っております。それによって人がスムーズに、円滑に移動できる空間を、そして円滑なバリアフリーの動線をつくるということを行っております。

もう一つ、まちとして滞留空間が現状足りないということに対しては、これも御説明でありましたが、スカイコリドーというものをこういう空間でつくらせていただいています。ここも模型では表現できていませんが、実はここの9階、5階、2階で新宿駅西口地区と連携させていただきながら、ずっとつながったような空間をつくらせていただいて、しっかり滞留できる空間をつくらうというのがスカイコリドーの概念になってございます。

これら3つの要素を折り込みながら、まずは人中心のまちづくりとしてどういったことができるかというのをプランニングとして御説明させていただければと思います。

地下2階、このパネル上、左が現況、右が計画で、ちょっと模型ではご覧になれない部分なのでパネルで御説明させていただきますが、現況、北街区については京王線ホームが敷地いっぱい配置されているという状況です。西側には、新宿駅西口駐車場と新宿駅南口駐車場があって、それぞれこことここに出入口があり、この間は連携されていないという状況になってございます。

今回、計画においては、まず京王線を延伸して改札をここにつくって、さらには新宿駅西口地区と連携しながら、ここのパススルー、地下2階での動線をつくらせていただきます。これはなぜかと申しますと、現況、地下1階レベルのプランをご覧いただくと、京王線と丸ノ内線の乗換えを地下1階で行っている状況ですが、2020年の7月に東西自由通路ができて、ここがより便利になったということもあって、この東西と南北の動線でここの交錯が激しいという状況になってございます。

今、ここの行き来が1日8万人ぐらいいるんですが、ここの交錯を避けるために、先ほど申し上げたとおり、地下2階でこの南北に行く方はパススルーで行き来することとしております。地上、右側についてはこちらを優先的に使えるような計画とさせていただきます。

もう一つ、2つ目としては、地下の駐車場についても、今まで別々の出入口だったところを、今回ここをネットワーク化することによって、まちの中心に車になるべく入ってこないで、こちら北側のフリンジと、南側の地下街の傍で車の処理をするという計画にさせていただいているというのが地下2階の計画になってございます。

続いて地下1階についてですが、先ほどここの交錯については御説明しましたが、現況、こういう各広場に面した縦動線が分かりづらいというような状況ですが、この紫色のターミナルシャフトと呼ばれるところに、エスカレーターとエレベーター、あるいは縦に抜けるような空

間をつくって、ここが出入口ということが分かるような縦動線を設けてございます。

それともう一つ、今回、甲州街道をまたいで南北で取り組んだからこそできる場所ですけど、甲州街道の南側には、今、この小さな階段しかないというところがございますが、今回、南街区側で大きく間口を取って、ここにある駅施設を全部移転させてここをつなげることで甲州街道の南北に、よりスムーズな動線を確保するというを行わせていただいています。

続いて1階になります。

北街区については、今、商業施設が敷地ぎりぎりまで建っている状況で、駅の入り口がどこか分かりづらいというのが現況かと思えます。南街区についても、中小ビルが立ち並んでいて、駅の顔としてはちょっと弱いような環境になっていると思えます。あるいは甲州街道のところの滞留も、今、コロナ禍で多少は落ち着いているものの、ふだんはかなりここが混雑しているという状況でございます。これに対して今回の計画では、ターミナルシャフトという入り口を分かりやすくつくるということと併せて、滞留空間をしっかり取るということを行わせていただいています。それによって、駅の入り口がより分かりやすくなるであったり、滞留により混雑を避けるというところの御提案をさせていただいているという状況でございます。

最後に2階になります。

2階については、現況では公共動線が全くないという状況でございますが、今回の提案の中では、冒頭申し上げた土地区画整理事業でこのデッキが計画されております。このデッキは西側の街区にも横断できるように計画されています。新宿駅西口地区の先行するプロジェクトでも、こういう貫通通路を建物内に計画しております。それに対応するように、我々のほうもこの東西にストレートに分かりやすくつながる動線をしっかり御用意するというを御提案させていただきます。

また、南側においては、先程地下空間をつなげるというお話し申し上げましたが、2階レベルにおいても、このデッキレベルからはほぼフラットにずっと南まで抜けて現状のサザンテラスレベルまでフラットに行ける、あるいはペンギン広場やバスタの入り口のほうに行けるという動線を確保させていただくということで、新たな公共動線を2階レベルにつくることで、1階の歩車交錯を避けるということを取り組ませていただいております。

今申し上げたような2階レベルの動線などをしっかり作りながら、それが分かりやすいような建物デザインを近景なり中景で作っていくということを取り組んでおります。

あとは、人中心のまちづくりという意味で、我々、デザインとしてもなるべく人の滞在空間を表出させるというところで、グランドシャフトも人が滞在する空間と縦動線が分かるような

空間、それによって上に上がることができるということを想起させるようなデザインとしています。また中景で見たときに、これも説明ありましたが、何かあるぞと思わせるようなファサードということを意識するということをしていただいております。

南街区においては、どちらかというところら辺に人だまり空間をつくりつつ、ファサードについては、こういう中景の空間、あとは高層空間に人だまりの空間をしっかりとつくることで、公共性の高い建物、人中心の開発ということを意識したデザインとさせていただきます。

説明は以上とさせていただきます。ありがとうございます。

○後藤会長 どうでしょうか。この場で少し質問があればお受けしてもいいかなと思います。どうぞ。

○安田委員 安田と申します。新宿テラスというところと先ほど言っていた滞留空間をつくらうとありますが、あとコリドー、公共道路というんでしょうか、この大施設の中に自由に歩ける歩道が貫通しているというようなイメージかと思います。

それで縦動線のことですが、この模型を見るまでは、南街区のところの新宿テラスまでどうやって行くのかが分からなかったんですが、これを見て、エスカレーターで上がっていくということが分かりました。だから9階というのがすごく全体的に強調されているのかなと思いました。

もう一つは、質問ではないんですが、これ全体を見ていると、景観的に見ますと、この各建物の街区のコーナー部分がすごく重要なポイントだと、皆さんそう思われていると思います。そうなりますと、この40メートルを超すブリッジも外から見ると、すごく重要になってくると思います。そうすると、これは幅が幾つあるのか知りませんが、長さ40メートルで、いろんな角度から、車からも見れるので、ここの意匠もそろえていただきたいです。

つまり、自然の雰囲気というか、木を使えという意味ではないんですけども、みどりのネットワークの中で、できればここでひさしのグリーンベルトと提案されているものを何とかつなげられないかと思いました。やり方としてはできることだと思うので、パーゴラを部分的に東西の端だけでも構わないので作るなど、何か工夫をしていただければうれしいと思いました。長くなりましたけれども、以上です。

○東日本旅客鉄道株式会社（鈴木） ありがとうございます。

○有馬委員 有馬と申しますが、素人なもので細かいことは専門家に任せますが、東京都や新宿区の上位コンセプトで、国際交流や国際というのが随分出てきます。この設計に、この国際交流といったところをどのように生かされたのか、というところをちょっと教えていただけ

るとありがたいというのが1つです。

それともう一つ、最近、地域創成で国産木材を使ってどんどん木を使う高層ビルだとか、いろんな技術開発等もされていますので、その辺は何か考えておられるのかなというのが1つ、あとCO₂関連で何か考えておられることがあれば教えてもらえればと思います。

○東日本旅客鉄道株式会社（鈴木） では、私のほうから最初の2点について御説明させていただきます。

国際競争力に資するという点で言うと、まず新宿駅は、JRも京王もそうですが、世界一の乗降客数を誇るという、1日に350万人利用する駅という意味では世界一であり、国際的にもそれをもっとアピールして観光都市にできないかという思いを持ちながら開発をしています。

今、1960年、70年代のビルが立ち並んでいます、昔はモータリゼーションの最中で、駅前広場の車優先の都市づくりになっていたというのが実状だと思います。ただ、これからは人中心のまちをつくるというところを東京都、新宿区が旗揚げしていて、海外から来た方が、人中心のまちとしていかに心地よく過ごせるか、そういう広場、新宿テラスという立体都市広場を一体的に散りばめたまちづくりというので、一つ何か新しい都市像ができないかと思ったのが1点です。

もう一つ、我々今回観光に関する導入用途を作ろうと計画しておりますが、これもよくよく調べると、まず日本として外貨を稼ぐためにこれから観光を伸ばそうという号令の中で、新宿というのは東京都に来る外国のお客様の半数はいらっしゃるというまちでありますので、ここを起点に新宿のよさ、あるいは東京のよさ、日本のよさを知っていただくような施設を埋め込みたいと思っています。その施設を中層階、この公共的な空間を上った先で感じられる空間をこういうところに散りばめます。

あとやはり調べると、国際ラグジュアリー系のホテルがこのまちの中に少ないというのが一つなので、それをしっかりここにホテルを造って、インバウンドの受入れを用意し、結果的に国際競争力につながるようなまちにしていきたいというのが我々の思いでございます。

2点目の国産材の活用については、先ほど御説明でありましたが、これが木材でそのままできるかどうかというのは、これからの検討になりますが、何かやはり人の居心地のよさというのは無機質なものではないというのは、御存じのとおりだと思いますので、そういうところを意識的に使えるかというのは、前向きに検討したいと思っております。

○株式会社日建設計（福田） CO₂はかなり幅広い議論だとは思いますが、先ほどお話をあつた素材という観点もありますし、大きな開発ですので、特に主要エネルギーという観

点では、それぞれの効率化であるとか、あとは電源も一般の電源だけではなくて、今回鉄道事業者もいますので、例えば鉄道電源みたいなものも使いながら、より効果的なエネルギーを使っていこうという議論は差し上げています。

当然ながら、カーボンニュートラルという大きな枠組みの中での議論もあって、特に北街区についてはかなり長期的なプロジェクトでもありますので、そういった素材とエネルギー利用と、あるいは建替えそのものを既存の建物を含めてどう考えるかというのは、まさにこれからの議論となると思っています。今、現状議論できているのは、そのエネルギー関連と、一部これから素材関連についても議論していこうというところまでありますけれども、当然、非常に重要なところだとは思いますが、具体的検討はこれから進めていくことになっていきます。

○事務局（景観・まちづくり課主査） 事務局からですけれども、皆様、自席のほうにお戻りいただいて宜しいでしょうか。

○後藤会長 そうですか。ちょっとこの模型で確認したいことがあるので発言させていただきたいと思います。

要するに人の流れをより豊かにして、その人の流れを積層させて包み込んでいくようなプロジェクトをされていると思います。これまで顔になる部分がなかったところを立派な正面性を持たせるのではなくて、人の動きを見せることによって新たな正面をつくっていこうというお話で、立体的に人がうごめいているような景観を出していこうというアイデアだというふうに伺ってきました。

それについて、少し危惧するのは、下から見上げると全部スラブに隠れてしまって人が見えなくなるとかという心配があります。例えば、地上のここに立って見たときに、これだけの豊かな人のうごめきというものが見えるのかということ、ちょっとこれだと心配だなという気がします。

例えば、マルセイユのオールドポートで、ノーマン・フォスターが設計したように、スラブの下を鏡面として、それを見上げると空中からその広場を見下ろしているような視角効果を与えとか、いろんなやり方があると思います。いかにこの人々の動いている姿を景観として外にあふれ出させるかということはずいぶん考えていただきたいのが1つです。

もう一つ、新宿駅西口地区との間に結果的にできているこのV字の谷というか、スリットという部分で、青空がかいま見れて、逆にこの空隙というのもすごく重要になってくるのではないかと。これだけ屏風のように立ち並ぶ中で、この駅前広場から見たときに、すばっと空が広が

っているというところがすごく重要だと思うので、それはこれからディテール検討いただくときに意識して、この青い空がすかっと見えるようにということは考えてほしいところです。

これだけ動線を豊かなものになっているんだけど、この甲州街道を越えていくような人の流れというのが、首の皮一枚でつながっていて、これが本当に惜し過ぎるので、やはりもっと豊かにして欲しい。これはもういろんなところをお願いしないとできないことだというのは分かるんですけども、このコンセプトがここで本当に首の皮一枚になっているので、もう本当に残念です。

しかも、道は上がっていくので向こうの既に今あるブリッジが見えているので、ここがすごく息苦しい。もっと何か新凱旋門じゃないけれども、新しい東京の二重橋をここに造って、郊外から東京都心に入ってくる時に、ここからもう都心なんだというような一つの名所になるといいなというふうに思う。これはすぐできる話ではないとは思いますが、そんなようなことが模型を眺めてもより重要だなと感じてお話ししました。

○株式会社日建設計（福田） ありがとうございます。

○阿部委員 建物は東西南北に区切られて敷地も細くなると思うんですけども、今回はこの面ですね。非常にこの3面、特に見ているんですが、私は日常的にJR山手線を使いまして、プラットホームから見える裏側のファサードの話が一切なくて心配していました。通常こちらがあって、ガラリつけたり設備系を置いて非常に醜い空間になっているところがあるので、ぜひそこは注意してもらいたい。ここを意識したコメントが今日なかったので、そこをぜひお願いしたいです。

歩く方に対してと、JR山手線、総武線が通るときに、必ずあのファサードが見られますので、ぜひここも意識したファサードづくりをお願いしたいと思います。以上です。

○事務局（景観・まちづくり課主査） それでは皆様、申し訳ございませんが、自席のほうへお戻りお願いいたします。

○後藤会長 今日、予定では終了時間何時ですか。

○事務局（景観・まちづくり課主査） 17時15分の予定です。

○後藤会長 17時15分だとあと20分しかないですね。会場の都合もあるかと思いますが最大でどれくらい延長できますか。

○事務局（景観・まちづくり課主査） 会場についてはかなり時間がございますので、6時過ぎぐらいまで使っていただいても大丈夫でございます。

○後藤会長 そこまでだらだらやる必要はないと思いますが、まだ御発言たくさん出るだろ

うと思いますので、少し予定の時間より延長することを前提に進行させていただきたいと思
います。

それでは最初に、景観事前協議の状況について、相談員の方より御説明いただきたいと思
います。

まず**神谷相談員**お願いいたします。

○神谷相談員 神谷でございます。

これに先立って小田急の大きなビルの話もあり、そのときには少しきつい話が多かったん
ですけども、今回の計画は最初からかなり頑張っている計画をつくってくれているという、そ
んな前提で話が進んでいます。

その上で、細かい話はもちろんたくさん出ていますけれども、今日、委員の皆さんから出
てきたようなお話というのは、やはり事前協議でも出ていました。それに対して、簡単に言いま
すと、新宿駅、先ほど世界一の駅という話もありましたけれども、新宿らしさというより新宿
駅らしさの顔として、どういうデザイン表現になるのかということが、個別の一つ一つの建物の
デザインをするのではない、景観デザインだというあたりに今回の計画のちょっと特殊性が
あると思います。複合建築として、またまちの全体の都市の顔としてということであると、と
ても複雑な難しいテーマに取り組んでいて、それに対して動線処理にしても、景観の処理にし
ても、かなり熱意を持って頑張っているという、そういう評価で話をし
てきました。

個別の細かい話はたくさんありますが、委員の先生方のお話で進めていったらいいかと思
います。

1つだけ言いますと、橋の話が出ていましたけれども、やはり甲州街道という非常に重要な
街道に対して、都市のゲートとして、この2つの建物がゲートとしてのデザインで呼応するよ
うな、そういうものになってほしいというようなことはお伝えしてあります。

私からは以上です。

○後藤会長 どうもありがとうございました。

続きまして、**進藤相談員**お願いいたします。

○進藤相談員 進藤です。

事前協議で最初に発言いたしましたのは、この計画というのは新宿のグランドターミナル計
画の大変重要な案件であるということで、その辺を踏まえてグランドターミナルをまとめられ
た委員会や新宿駅西口地区の小田急と東京メトロの計画したビルのプロジェクトのチームとど

うというような情報交換をしているのか、確認いたしました。要するに情報交換が非常に密でないと、この計画というのはうまくいかないだろうということで、しっかりとした情報交換をしていただきたいということをお願いしたわけです。

それから、最初はZ o o mで協議しましたので、こういった模型がなく、非常に計画がなかなか理解しにくかった。今回は新宿駅西口地区のタワーも建ってますし、大分周辺が分かった。ただ、残念なことは、グランドターミナル計画というのはもっと広範囲ですから、もっと広範囲な2つのスケールの縮尺の模型を置いて、グランドターミナルとしての位置づけがしっかり分かるような模型の工作をしていただきたいというお願いをしました。

後藤先生も新しい二重橋というような表現ありましたが、私はその折に甲州街道に1つはミロードデッキと、今回計画の国道デッキという言葉で呼んでいる2つのデッキがかかっていますが、何となくマストをつなぐものが、細いへその緒でつながっているような感じで弱々しい。何かそれを面的なつながりにする、**後藤先生**は新しい二重橋とおっしゃいましたが、何かそういった象徴的なもの、ないしは面的なつながりで、もう少し強いつながりの展開ができないのかというのを聞いてみました。

もう一つは、今回この計画の売りとしては、スカイコリドーだと思います。新宿駅西口地区にもスカイコリドーがあって、今回の計画にもスカイコリドーがある。それはこの計画のキーでもあり、売りだと思います。それをできれば甲州街道を横切って、隣の南地区へつなげられないのかという、要するに地下でつないで、2階でつないで、そして今言ったスカイコリドーでつなぐ、そういうような形で、もう少し全体的な回遊は高いところにつなぐことは非常に難しい話でしょうが、ぜひその辺が展開できたらもっと魅力的になるんじゃないかとは思っています。

それで、そのときのお答えは、非常に国道をまたぐということで難しいというお話がありましたが、この辺は逆にこの審議会で要望するということができないのでしょうか。これは、私の今の個人的な意見ですが、これを設計スタッフとか事業者に、自分たちで努力しろということは難しいので、審議会としても何か前向きに推すというようなことができれば、なかなか面白いという気がいたしました。それぐらい大事な位置づけなのではないかと思っています。

あと細かい形態意匠、みどりの問題とかはありますが、その辺は委員の先生方の意見に従う形で進めていただきたい。

ただ、今回の資料では増やしてくれましたが、固まりとしてのみどりというのが少しないと、設備計画では周りに超高層ビルもいっぱいできるので、屋上からの俯瞰に対する設備の対

応ということを十分考慮していただきたいというふうに思います。

それから、北街区というのは、15年から20年近く後に建物として実現してくると思うので、どういうふうな対応の仕方、その都度の審議会を段階的に行いますというお答えなんですけど、非常にその辺の審議会の在り方、それから相談の在り方というのは重要なのではないかなという気がいたしました。

以上です。

○後藤会長 どうもありがとうございました。

最初のお話の情報共有というのも大変重要なお話で、今日の**野澤先生**の御挨拶にあったように、渋谷区の景観審査会とも意見交換をしながらやっていかなければいけないなというのも、改めて感じました。どうもありがとうございます。

続いて、本日御欠席の委員から事前に意見を頂いているとのことですので、事務局より御紹介ください。

○事務局（景観・まちづくり課主査） 事務局です。

本日欠席された委員からの主な意見について御紹介いたします。

伊藤委員より、高層ビル群全体の中で、今回のビルがどのように見えるか確認できるようにしたほうがよいという意見がございました。そこで、本日、追加資料としまして、冒頭申し上げましたが、左上に「11補足資料」と書かれているA3横のカラーの資料を机上配付させていただいているところでございます。

事務局からは簡単でございますが、以上でございます。

○後藤会長 どうもありがとうございました。

それでは、ただいまの本日の報告1につきまして、御出席の委員より御意見いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

篠沢委員、まず、お願いします。

○篠沢委員 お手元の資料の26ページに中景の「西・南ゾーンの玄関口に相応しい街並み景観の形成」というシートがあり、これの中に自然モチーフというお話があって、これがすごく気になっています。

先ほどお話ししましたように、私は造園の専門でして、ランドスケープという仕事をしています。自然をモチーフというと、自然じゃないけど何か自然っぽい、それも何か消費しているような感じがしていて、非常に悩ましいなと思っていました。例えば今、地球環境問題やCO₂問題があり、自然破壊が起こっている中で、これだけの経済的なことをやりながら自然っぽい

ものを使って、これが何年もつか分からない。終わったら取り替えてしまうような類いのものかなと思っていて、非常に引っかかっているのが1点です。

もう一方で、先ほど会長がおっしゃったように、何か皆さんがつくっているものは、自然の地形をつくっている。例えば谷であったり、丘であったり、そんなようなものをつくっているというふうにも捉えられる。

例えば今、生態学のほうでは、都市の生態系に応じて生き物がすんでいる。少し昔、私が学生の頃だとビル街にハヤブサがすんでいて、ハヤブサが狩りをするみたいなのところもあって、そのときには本当に今の西新宿の高層ビルのようなところの隙間にハヤブサがいて、かわいそうだなと思ってたんですけど、もしかするとこの自然モチーフと呼ばれている先ほどのビルの角みたいなのところは、本当に自然に応じているものであれば、そこにハヤブサがいて生態系をつくってもいいのかもしれないなと思っておりました。これは感想です。

今、私たちが新宿駅西口・南口に何を、その自然っぽいランドマークとして考えるかなと思っていたら、1つ思い当たるものがあって、西口のロータリーの木の切り株みたいな排気塔、換気口につる植物が覆っている。何だか分からないので検索してて、ちょっともう一回確認したいんですけど、おそらくビグノニアっていうツリガネカズラという植物だと思います。

例えば1950年代、60年代の計画で、一つああいうランドマークをつくったとしたら、今回のこのプロジェクトをやるにあたり、このプロジェクトのつくり出す自然と都市が融合したようなランドマークって何なんだろう、そういうことはお考えいただいているんだろうか。そうではなくて、自然に近い、あるいは居心地のいいなど、いろいろ対処はされていると思います。でも、そういうこと以上に大きいプロジェクトをやっている中で、もちろん地面が空いてれば大きな木を植えてもいいんですけど、何か50年、100年も残っていく、入れ替えるのではなくて、残っていく自然にも私たちは配慮してますというものがあると、私としては拍手をしたいなと思っていました。

これから計画をどう考えていかれるか、いろいろあるとは思いますが、特に植栽等に関しては、ぜひ消費しないもので、できれば10年、20年、50年、100年残っていくものを考えていただきたい。それはでかい木を植えるだけではなくて、換気塔のようなやり方でも残るわけですから、考えていただければと思います。

以上です。

○後藤会長 どうもありがとうございます。

ほかにはいかがでしょうか。中島委員お願いします。

○中島委員 中島です。篠沢委員のような高所からの意見ということではないんですが、少し気になったことが2点ありまして、今日、いろいろ模型を見させていただいて、空間構成等もよく分かりました。一番大事なのがコリドーであるとか、それぞれの広場などパブリックスペースだと思います。

気になったのは、コリドーも9階も2階もなんですけど、何か全体の元のグランドデザインであったときのコンセプトからあまり深まってないというか、個々の場所の個性について、今日あまり説明がなかったというか、あるいは感じられないというふうに思ってます、どこのパブリックスペースも、どこのデッキも全部同じようなデザインに、今の段階では見えてしま

う。

今日の段階ではこういうことだろうと思いましたがけれども、でも本当は、もちろん階数が違うので採光も違うでしょうし、そこから見えるものとか、あるいはそこで見られる感じとか、それぞれ違うと思うので、それぞれの場所がパブリックスペースあるいはデッキという、何か抽象的な名前ではなくて、それぞれどういう場所なのか、その個性、固有性がやっぱりもうちょっとデザインとしてはっきりと出てくると良いと思う。もしかしたら、あるところは本当にみどりがまとまって、もっとみどりがあるような場所があったり、ある場所はむしろみどりが少なく全然違うコンセプトの場所があるとか、そういうものが積層してつながって、あるいはシーケンスで連続することで、初めて魅力的で人が歩きたくなるような、あるいはたたくみたくなるような場所ができると思います。実際にはそういうことをいろいろお考えになられているんだろうとは思いますが、ぜひ説明のところでそういうことをもうちょっと強調してほしいなと思いましたのが1点目です。

あと2点目は、少しないものねだりかもしれませんが、今日の話の中で、かなり現状に関する課題というのを御説明いただきまして、確かに今の京王のデパートなり、現状の構成というのは非常に問題があることはよく分かるんですけど、今回のこのプロジェクトの中で、土地の記憶というか、何か過去から継承するものはあるのかなというのが非常に気になりました。

今回、非常に未来志向で新しい新宿の顔をつくるというのはもちろん大事なことですが、例えばこの甲州街道一つ取っても、いろんな物語や歴史があって、もともと京王線が走ったところで京王線が一生懸命上り切って、何とか新宿追分まで行ったみたいな、そういうところだと思います。それもあるし、それぞれの両方の建物も、確かに現状では何でもない建物に見えるけれども、やっぱり人々にとっては意外と親しみがあったり、愛着があるようなものもあったり、場所もあるのではないかと。

つまり、何か現状に対する否定的な視点だけじゃなくて、何か生かせるものはないかなと思う。それが先ほどの場所の固有性とか、物語にもつながってくるような気がする。もしかしたら、これからでも何か新しく前を向く方向だけではなくて、少し継承して、この土地の物語を紡いでいくような何か要素みたいなもの、この今回の計画に入ってくると、すごく厚みが出て、新宿の文化の蓄積みたいなのところに行くのではないかと思います。

これちょっとコンセプトの中にはなかったのですが、ただ新宿全体の景観づくりのコンセプトの中には、1番目か2番目に歴史や文化を継承していくということが書いてあるので、やっぱりそれに対応する何か試みをぜひ、やるとよりいいなと思いました。どちらも意見であって、具体的にどう反映できるかということはあるかと思いますが、今回の計画を見て気になったところでございます。

○**後藤会長** どうもありがとうございます。

篠沢委員、中島委員共に、自然的な文脈とか歴史的な文脈とか、これまでの場所にまつわるものをやはり大切にさせていただきたいということで、それと同じことになるかと思いますが、やはり新宿の魅力は多様な人々がうごめいている、そこである人間生態系みたいなものをつくっているところ、それがこのまちのエネルギーの源泉だというふうに思います。

ですから、一様に人々が流れていくのではなくて、当然、よどみがあって、そこにたたずんでいて、それはあるところでは若い人たちの固まりかもしれないし、あるところではおじさんの集団だったり、あるところはおばさんの集団なのかもしれないけれども、そうした場所の使われ方みたいなものを想定し、それを歴史や自然との関連性で説いていっていただくというのが必要になっていくだろうというふうに私も思いました。ありがとうございます。

ほかにはいかがでしょうか。**大橋委員**、お願いします。

○**大橋委員** 大橋です。

今、それこそ**篠沢先生**から、みどりのことについてお話を聞いてて、それはそうだと思う。私もやはり植物関係が好きでやっているんで、今まではきれいな花があつて、それでもう見た目がきれいならオッケーだったけれども、今はもうどこの駅へ行ってもみどりが本当にビルとうまく調和してきれいに植わっています。これからの時代はもう何が起きてくるか分からないので、この建物は、1つはやはり防災じゃないですけど、何か起きたときに、ここでちょっと集まって助けてもらえる場所になればすごいと思います。

それには、植物もきれいなだけではなくて、これからは、どの時期に何が咲くのか、どんな実がなるのかというものを、ちょっと見に来た人たちが意識できるよう、春になったらこうい

うのが咲くんだな、秋になったら実がなるみたいなのを1か所でいいんですけど、まとめていただいてグルーピングできないでしょうか。

それからあまりにも大きなプロジェクトで、皆さんが例えば待ち合わせするときに4階のエントランスと言われても、みんな同じだと分かりづらいのではないか。だからそこに、それこそ三越のライオンではないですけど、そういう水槽であったり、少し一角だけアジサイがわつと咲いてるとか、そういう目印的なものをこのビルの中に作っていただけないか。さきほど言ったように、その中で、この実は食べられるんだとか、これからの人たちにそういう知識を少し入れていただくような植栽をしていただくと良いのではないか。これからの時代は、きれいなだけの植栽では済まないのではないかということを感じてますので、ぜひまた目印になる植栽と、何かあったときは、それが取って食べれるようなことも少し考えていただきたい。ありがとうございます。

○**後藤会長** ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。はい、どうぞ。

○**有馬委員** 今回初めてなので、別に議論されているのかもしれないんですけど、駅の顔自体はいろいろきれいになっているのですが、ホームそのものは鉄骨スレートや配管が見えていて、それから駅の周辺に資材が置いてあったりする。

要は新宿に来る人は、最初にその駅ビルではなくてプラットホームから来るわけなので、何か外国のプラットホームと比べて、日本のプラットホームは、何かどうも、地震の関係かしらないけど、鉄骨スレート、それから配管が出ていて、補修も何かペンキが剥がれていたりするが、それが電車で着いたときから、これはすばらしいとか、新宿に来たというふうな感じに僕はなるべきだと思っています。駅そのものとの一体的な開発とか、当然JRで設備投資をどんどん行っていると思うんだけど、駅そのもの、プラットホームの内側の設備投資をこういう再開発と併せてきちんと計画的にやっていただいて、全体がトータルとして、これは世界一のプラットホーム、非常にすばらしいというふうに思ってもらえるようなものに一体的な開発をしていただければいいなと思っています。

既にもう議論はとっくにされているのかもしれないですが、初めて私、参加するので、取りあえずちょっとお話だけしたいと思いました。

○**後藤会長** どうもありがとうございました。

ほかにいかがでしょうか。はい、**安田委員**どうぞ。

○**安田委員** **安田**です。いろんな御意見聞いてて、すごくいろんなことを考えないとつくれ

ないとしみじみ思いました。特にランドスケープの御専門の**篠沢委員**もそうですね。先ほどのお話は、**大橋委員**さんも含めて、みどりに関しては設計者の皆さんは間違いなく都条例の緑化計画制度に基づいた面積計算されていると思います。だから、非常に見えるところで満たしていると思うんですが、新宿区はみどりに関し、みどりの手引きまで作られている。ほかの区はどうなっているのか知らないのですが、かなり細かい制度まで設定されてまして、数年前にビオトープの形成というのをすごく強調されていました。

お話伺っていると、何かそういうものも一つの特色として、この新宿テラスのどこかの一つに構成されてもいいのかなと思いました。水を使うことは非常に難しいと思うんですけども、最近できました早稲田大学の戸山キャンパスだったかな、昔文学部があったほうに、体育館の上にきれいなランドスケープできまして、あそこも1個1個樹木に名札をつけていただいて、私なんかすごくいいなと思っています。そういったもので、かつ水が流れているのもある。

あとは新宿らしさという、私この前1個頂いたんですが、特別なミョウガがあるということを知りました。大隈講堂の前に、ちょっと見慣れないモニュメントがありますけれども、あれはミョウガの形をしているらしいです。あとは皆さん御案内の内藤とうがらしとか、調べていくといっぱいいろんなものが出てくるのではないかと思います。今のは一つの意見です。

もう1個お伺いしたいのが、ここの縦方向に並んでいる巨大な施設は、南の日射と西の日射をかなり受けるはずですが。特に南街区と北街区のところのガラス、透明ガラスか反射ガラスか熱反射ガラス、いろいろあると思うんですが、先ほど**後藤先生**もお話しされていたように、下から見上げたときに、恐らく一定の時間は反射で見えなくなるんじゃないかとも危惧しています。どんなガラスが適しているのかということは、まだ御検討はされていないのでしょうか。かなり日射を受けると思う。

○**後藤会長** 何かコメント、回答できますか。

○**株式会社日建設計（福田）** 今回、北街区と南街区、かなり整備タイミングが違うところもありまして、北街区については、まだこれから具体的な検討はしていくというのが正直なところですが。南街区については、2023年から2028年ということで動いていますが、南側は今のJRの本社と接しているところでもありますので、主には西側の面が重要なところかなと見ております。

今日の模型では分かりづらいところもあるんですけども、例えば最上階の展望台や途中階の少しまちのほうに広がっている、開けているような階というのは、かなり限られたところに設置をしようと考えています。それ以外については、やはり建物の西側については太陽との関

係も含めて、壁に近いような立てつけをせざるを得ないところも確かにあるとは思っています。具体的にどういうデザインでつくるかとか、どういうやり取りをするかは、まだこれから具体的な取組をしていきます。特に西側からの熱や光だとか、そういったところはかなり目立つところでもありますし、非常に影響の高いところもありますので、そのあたりはかなり絞った形で何とか表現できたらいいと考えておりますが、まさにこれからの業務というところではございます。

○**安田委員** 分かりました。設計方針にも外から人の動きが見えるということを書かれていますので、よろしく願いいたします。

○**後藤会長** ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。**浅見委員**どうぞ。

○**浅見委員** 素人目線で、新宿の顔というコンセプトの割にはインパクトがあまり感じられません。模型の建物を見ても、どこを見て新宿らしいと思ったらいいかのと思ってしまいました。

人が動いている、人が流れる、それを特徴として新宿の顔という御説明がありましたけれども、果たしてそれが新宿の顔なのか、少し疑問も感じましたし、建物全体で新宿らしさということはどこに表していらっしゃるのかなというふうに思いました。

あと、スカイコリドーや、皆さんの集まれる広場とか、いろいろ各階にできているんですが、同じようで特徴があまり感じられなくて、この階は特別そこに行ったら、それしかできないというような広場でなくても、もちろんいいと思うんですが、あまりにも同じようなイメージで特徴がないと感じました。

以上です。

○**後藤会長** どうもありがとうございます。

やはり**篠沢委員**、**中島委員**のおっしゃったようなことを丁寧にリサーチして表現していくということが大変求められることなんだろうと思います。

阿部委員、お願いします。

○**阿部委員** 今日は色彩計画家の**吉田委員**がいないので、**吉田委員**の思うようなイメージで少し発言させていただきます。

41、42、43ページにファサード立面図が載っています。新宿駅西口地区の場合は、ここに仕上げ表というのがございまして、アルミスパンドレル、Low-Eガラス、複層ガラスとか、そういう形でいろんな素材が書いてありました。それに加えて色彩の明度、彩度も明記してあり

ました。特に強調色に関しましては前回は6.5%までということも計画していました。

やはり色彩の面から確認することが、まず肝要かと思っていまして、明度の高い色、彩度の低いものを使いながらも、どこかで強調しなければいけないと、そういうふうには使ってもいいんですが、それをぜひここに記してもらいたいと思いました。

それと、先ほどの歴史の継承で言うと、京王百貨店は割と温かみのある暖色系かと記憶しているが、資料はカラーコピーなので分からないのですがこのファサード図面を見ますと、上のほうにちょっと木を使うか、ちょっと暖色系の面もあるのかということ、ずっと京王百貨店が残っていて、割と暖色系の印象を頭にみんなインプットされてまして、建て替わった後にモノトーンの建物ができて、ガラスばかりとなってくると、先ほど意見出しましたが、ほかの再開発案件と全然変わらないよねとなる可能性があったりしますので、ぜひ歴史の継承という観点からも、色彩に関しては十分考慮していただきたいと思います。

以上です。

○**後藤会長** ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。**野澤委員**お願いします。

○**野澤（康）委員** もう時間も大分たっているので、3点ほど発言します。

1つ目は質問なんですけれども、たしかこの駅の大きな構想の中では、JR線を東西にまたぐ形のデッキか何かをかけるという巨大な構想があったように記憶していますが、それがどのレベルを想定して設計されているのかを教えてくださいというのが1点目です。

それから2点目は、地上部分をどうするかをもう少し丁寧に考えてほしいと思います。2階、5階、9階もいいんですが、やはり地上が一番根本としてあるだろうし、それが大事だという気がするんですが、今日の資料を見ても、地上部分の絵を描いているものはほとんどありません。無理やり人を上に上げるという、少し上から目線の設計の仕方をしているようにも思うので、やはりGL部分というのをもう少し大事にしてほしいというのが2点目です。

それから3点目は、これはできたらということですが、冒頭に**中島委員**の御挨拶で、去年の今頃、暑い中、学生たちがいろいろと調査してくれたというお話がありましたけれども、その発表会に私も行って、その中で新宿区内、建築行為もそうですし、都市計画道路も含めて、あちこち工事中でしたという御報告があって、そのとき私が考えたのは、工事中の景観をどうしたらいいかということも考えたほうがいいのではないかなというアイデアを持ちました。

私、西新宿に勤め始めてもう28年目ですけれども、どこか絶対工事していてそのときに、工事現場をどう見せるか、工事の部分を隠して仮囲いも大分きれいになりましたけれども、ず

っと長いこと工事をしているわけですから、その期間中の景観というものを考える時代になってきているのではないかなというので、恐らくそれができる事業者さん、設計者さんだと思いますので、何か御検討いただけるとありがたいと思います。

○**後藤会長** どうもありがとうございます。

1点目のどのレベルというのは、時間軸ですか、高さですか。

○**野澤（康）委員** 高さです。

○**後藤会長** それでは、御質問にお答えいただければと思います。

○**東日本旅客鉄道株式会社（鈴木）** 先ほど御説明漏れましたが、2階レベルで南北デッキができると申し上げましたが、このレベルで同じように東西デッキができます。土地区画整理事業において、このレベルで東西に抜けるデッキについては既に都市計画決定されています。

先ほど議論でもありましたが、ここのスリット大事だよねというのは、まさにおっしゃるとおりで、都のデザイン部会という中でも、ここからこちらにつながるということを意識させるように、やっぱりあそこの空隙をどうデザインするかという議論もある中で、今のような形になっているというところでございます。

○**後藤会長** ありがとうございます。

あと2点コメント頂きましたけれども、特に何かお答えいただくようなことありますか。

○**東日本旅客鉄道株式会社（鈴木）** 地上部分については、これも先ほどの土地区画整理事業の中で、この範囲については東京都が施行されている事業の中で、計画が練られているものはあります。そのため、我々の立場から、今こういう形になっていると申し上げられるような立場ではないため、ここは議論しづらいというのが正直なところでございます。

ただ、当然に土地区画整理事業と開発事業が連携しながら、ここの地上のデザインどうするかということは、今、行わせていただいているというところになります。

以上です。

○**後藤会長** あと工事中の景観についてお願いします。

○**京王電鉄株式会社（中川）** 京王の中川でございます。

工事中の景観についてはおっしゃるとおりで、これから新宿駅西口地区、我々の新宿駅西南口地区の開発計画、それぞれ進捗していきますので、至るところで仮囲いが徐々に出てくるというふうに考えています。

ちょっとその施工施設は、いろいろと事業者間で協議しながら調整をしていくんですけども、利用者の方、まちの方に御迷惑をおかけすることもあると思っていますので、今、この関

係する鉄道5社で、この仮囲いの見せ方をどうするかということを議論しているところでございます。今、グランドターミナル構想に基づいてこういう計画を進めておりますので、まず出来上がりの姿、計画があるよということのPRをその仮囲いも含めてできたらということで、今いろいろとお話をさせていただいており、少しでもそういったストレスも含めて軽減できるような形で考えていきたいというふうに思っております。

○**後藤会長** どうもありがとうございました。

そのほか、まだ御意見、御発言ない方がですか。**和田委員**、いかがでしょうか。

○**和田委員** 先ほど乗降客350万人と言っていたんですけど、これは前の話で、現在コロナ禍で260万人と100万人減っています。だからそれを復活させるためにも、この計画を進めていただいて、もっとよくしていただきたいのですが、先ほど**阿部委員**が言っていたとおり、16番線、総武線から見た側をもう少し工夫をしていただくとありがたいと思っております。

○**後藤会長** どうもありがとうございました。

ほかに**志村委員**、**川手委員**、よろしいですか。

では、**志村委員**、その後、最後に**川手委員**ということで、皆さん御発言いただきたいと思っております。

○**志村委員** 志村でございます。

浅見委員がおっしゃったように、新宿らしさ、そういったものが輝いて見えるようなことを期待します。以上です。

○**後藤会長** ありがとうございます。

川手委員お願いします。

○**川手委員** これから100年を超える建物になっていったときに、冒頭に車社会から人の集まる社会というふうに言ったときに、人の集まるとは、鉄道事業者ですので、基本は鉄道だと思いますけれども、世界やほかの日本の都市を見ても、LRTみたいなことで、駅前までいろんなもので来るとも考えられるので、皆さんが発言しているように、2階あるいはGL部分がどういうふうにつながるのかということについては、次の時代のそういう人・ものの動きにも対応できるようなことも少し考えていただければなと思いましたが、日本らしさ、新宿らしさと言うのは簡単ですけど、すごい難しいことだと思って聞いておりました。

以上です。

○**後藤会長** どうもありがとうございました。

皆さんから御意見いただきました。ぜひ、設計に反映していただければというふうに思いま

す。また、かなり長期のプロジェクトですので、まだ北街区のほうはディテールも定まっていないということでしたので、またこうした意見を交換するような場を持たせていただければなと思いますし、先ほどの渋谷区との連携とか、いろんなことを新宿区側からもアプローチしていく必要があるかというふうに思います。

いずれにしろ、みんなが期待しているプロジェクトで、ぜひよりよいものにしていただければというふうに願っております。

それでは、報告1、以上でございます。

3. その他

○後藤会長 そのほか、事務局から連絡事項があればお伝えください。

○事務局（景観・まちづくり課主査） 本日の議事録については、個人情報に当たる部分を除きホームページで公表いたします。

今回の審議会の日程については、本日と同じ会場で10月20日木曜日を予定しています。日が近くなりましたら、改めて開催通知を送付させていただきますので、よろしく願いいたします。

なお、景観事前協議の届出及び行為の届出について、勧告や変更命令を検討する事例が発生した場合には、急遽審議会または小委員会を開催する場合がございますので、あらかじめ御了承ください。

事務連絡は以上でございます。

○後藤会長 それでは、当初の予定の時刻よりも延長してしまいましたけれども、どうもありがとうございました。本日の審議会は以上とさせていただきます。

午後 5時37分閉会